

8-1		主題	緑茶洗浄への取り組み	
排泄ケア		副題	Tea-Cha ～においよサヨナラ～	
清潔保持				
研究期間	18ヶ月	事業所	特別養護老人ホーム 青陽園	
発表者：布川 恵子（ぬのかわ けいこ）			アドバイザー：	
共同研究者：溝口 あすか、五十嵐 理奈				
電話	042-654-4025	メール	main@seiyoen.com	
FAX	042-654-4086	URL	http://www.seiyoen.com	

今回発表の事業所やサービスの紹介	指定介護老人福祉施設 青陽園 長期入所140床、ショートステイ20床。昭和41年、八王子市内では一番最初にできた特別養護老人ホームです。なお、都内でも8番目に開設した施設です。
------------------	--

<p>《研究前の状況と課題》</p> <p>（状況）</p> <p>集団介護の中、ご利用者への細かい部分への配慮が不十分に感じる事があった。その為、個別ケアを行っていく上で、効率的で効果的な介護を提供出来ないかを考えていた。</p> <p>ご利用者の状況としては、排泄介助時、毎回お湯で陰部洗浄をしているが尿臭やおりものにおいが改善せず、居室や食堂でもにおいを感じる事があった。まず1名のご利用者を対象として始めた。</p> <p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄ケアの見直し ・尿臭・おりものにおいの軽減 ・職員のご利用者へのケアに対する意識の向上 	<p>《研究の目標と期待する成果》</p> <p>まずは尿臭やおりものにおいを軽減させたい、との思いで、殺菌や消臭効果があると聞いていた緑茶を使用し実施した。</p>
---	---

《具体的な取り組みの内容》

ある大学病院では新生児のオムツかぶれの予防として緑茶による陰部洗浄を行い、治りが早くなったとの事で取り組みを検討した。

緑茶洗浄の方法として、緑茶は薄めずそのまま使用。酸化したものは使わず、一日朝・夕配膳時のお茶を再利用した。お茶は一度ペットボトルに移し、温めて使用する。排泄時毎回入れ替えて実施した。

＊尿臭・おりものにおいへの取り組み
平成21年12月5日～

①初めに11時、15時の一日2回、排泄介助時に陰部に緑茶洗浄をおこない、清拭布に緑茶を湿らせて陰部清拭を行った。

②二週間後、職員間で相談し緑茶洗浄の見直しを行い、一日6回の全排泄時間帯に緑茶洗浄を行う事とした。

③一ヶ月後、他職員やご家族からのにおいへの指摘が聞かれなくなった。

④二ヶ月後、グループのオムツ使用者全員に緑茶洗浄を行った。

⑤半年後、他グループでも対象者を決め緑茶洗浄を始めた。

平成23年6月現在、園全体で取り組みを行っている。

《取り組みの結果と評価》

尿臭やおりものにおいが軽減され、居室や食堂でのにおいも感じる事がとても少なくなった。施設全体でも排泄臭は軽減した。

緑茶洗浄を実施した事により、職員同士が共通の認識に立ちチームワークが取れ、排泄の取り組みへの意識向上に繋がった。

《まとめ》

平成21年から取り組みをスタートし、今では陰部洗浄だけではなく、足浴や茶葉ロール等用途別に応じてお茶を活用している。今後も継続し、より清潔に快適に生活して頂ける様援助していきたい。

《提案と発信》

【メモ欄】